

令和3年9月9日

東京家庭裁判所を利用される皆様へ

東京家庭裁判所

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた裁判業務について

東京家庭裁判所（立川支部を含む）では，裁判所に来庁される皆様に御安心いただけるよう，専門家による助言を踏まえた感染防止対策を徹底した上で，原則として，通常どおり裁判業務を継続しています。

裁判所の利用に当たっては，次のとおりです。

なお，これまでの基本的な感染防止対策の徹底に加え，デルタ株等による感染拡大状況を踏まえ，裁判所では，ウイルス拡散を防止する効果が高いとされている，不織布マスクの着用を推奨しています。また，換気に一層留意し，窓のない比較的狭い部屋等を使用するに当たっては，利用者数や利用状況等に応じ，こまめな換気を実施します。

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

来庁に当たっては，検温の上，発熱等の症状がある場合には来庁をお控えください。

来庁される際には，マスクの着用，咳エチケット，手洗いの励行の基本的な感染防止対策の御協力をお願いいたします。

期日に来庁される場合で，発熱等の症状がある，体調不良である，基礎疾患を持っている，都外からお越しになる等の理由で，来庁に当たり不安がある方は，無理をされることなく，来庁前に担当書記官又は担当調査官に電話等で連絡してください。期日の変更等を検討します。

なお，連絡先がわからない場合は，こちらへ [「窓口案内」](#)

個別の事件によっては，裁判所から，当事者が出頭しなくても審理を進めることができる電話会議の期日への切り替えや，出頭して行う手続においても，出頭する人の数を極力減らしていただくようお願いすることがあります。

職員はマスクを着用して対応し，窓口や執務室においてもシールドを設置するなどして飛沫防止策を講じています。

備え置きの筆記具の使いまわしを防ぐために，筆記具の持参にも御協力ください。

家事事件について

- ・ 調停室では，飛沫感染防止のためのシールドを設置するとともに，常時空調機器により換気を行っているほか，扉を一定時間ごとに開放したり，扇風機を使用したりするなどし，換気効率を上げています。
- ・ いわゆる「3密」を避ける観点から，臨時の待合室を設けるなどしています。また，待合室や法廷の傍聴席では，人と人との間隔をあけて着席をお願いしています。
- ・ 家事手続案内については，感染拡大防止の観点から，当面の間，原則として行わない取扱いを継続します。当庁のウェブサイトページ [「裁判手続を利用する方へ」](#)には，家事調停・家事審判等の申立てに必要な書類や手続内容を説明した情報が掲載されていますので，まずはそちらを御覧ください。
- ・ 夜間手続案内については当面実施を見合わせています。夜間，休日における東京家庭裁判所への書類の提出は，[「夜間・休日における東京家庭裁判所に対する書類の提出について」](#)を御覧ください。

少年事件について

- ・ 少年事件については，担当部等から特に連絡がない限り，感染防止

対策を十分に講じた上で，予定どおり審判期日等を実施します。

今後，状況等の変化に伴い，内容等が変更される場合がありますので，御了承ください。